

## 普及活動情勢報告（令和3年2月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

### 5年後も地域の担い手として安定した経営を継続・発展していくために！ ～いの町の（農）上東定例会で新5カ年事業計画を検討～



熱心に協議する参加者

2月12日、（農）上東の定例会が開催され、役員6名といの町担当者が参加しました。

法人設立時の5カ年計画と実績の乖離が激しくなったため、今年度新5カ年事業計画を作成するため、これまでも話し合いを継続していました。

農業改良普及課から新5カ年事業計画(案)等を説明した後、利用権設定面積や農作業受委託料金の改正等について協議しました。

生産した米の販路開拓に課題はありますが、新5カ年事業計画(案)は了承されました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して、（農）上東の経営発展に向けて支援を行っていきます。

### I P M技術を用いたキュウリ黄化えそ病の防除に向けて ～実証ほど天敵(スワルスキーカブリダニ)の放飼を行いました～



葉上に丁寧に天敵を放飼

1月26日、JA高知県土佐市支所胡瓜部会の実証ほど、天敵(スワルスキーカブリダニ)の放飼を行いました。

JA胡瓜部会では、発生すると被害の大きい「キュウリ黄化えそ病」の防除対策が重要な課題となっており、農業改良普及課の提案で、今年度も天敵の春放飼の実証を開始しました。

昨年度の実証で、「キュウリ黄化えそ病」防除に天敵の有効性が確認され、農薬のみに頼っていた農家にも天敵利用に関心が高まっています。

農業改良普及課では、JAや部会、天敵メーカー、専門技術員など関係機関と連携しながら防除対策の支援をしていきます。

### 経営継承、法人化の時期を見極めて ～経営継承、法人化志向農家への経営分析支援～



税理士との面談の様子

2月4日、土佐市の法人化志向農家が農業会議の農業経営者サポート事業を活用し、アドバイザーの税理士に経営継承、法人化に向けた経営診断を受けました。

農業改良普及課は、一昨年から法人化の意向を聞いており、この事業を活用し相談を受けられるように支援してきました。

過去3年間の決算書、確定申告書を元に、経営主、その妻、後継者の3人が説明を受け、法人化の有利性、経営継承と法人化の時期や様々な疑問点などが解消・理解されました。

農業改良普及課は、今後も地域の法人化も含めた規模拡大志向農家への支援を行っていきます。

### 今年1年間の頑張りを発表しました！ ～6次産業化セミナー実践コース成果発表会～



取組を発表するクラブ員

1月28日、6次産業化セミナー実践コースの成果発表会が開催され、「ネギ塩だれ」の開発に取り組んだとさし旬物クラブが発表しました。農業改良普及課は発表資料の作成等を支援しました。

アドバイザーからは、「素敵な商品が出来上がり、県内でもっと販路を広げて欲しい」や「仲良く取り組んでいたことが印象的」などたくさんの高評価をいただきました。とさし旬物クラブは「セミナーではたくさんのことを教わり、また機会があれば受講したい」と、今年を振り返っていました。

農業改良普及課は、今後も農家の方々の加工品開発を支援します。